

訓練シナリオ開発WGに向けた面談 事業者資料リスト

議題1 令和4年度におけるI型訓練の取り組みについて

(1)PWR 取りまとめ

- 資料1-1-1：PWR I型訓練（令和3年度シナリオ）観察チェックシート取りまとめ表【良好事例】
- 資料1-1-2：PWR I型訓練（令和3年度シナリオ）観察チェックシート取りまとめ表【気付き事例、改善事項】
- 資料1-1-3：【川内、伊方、美浜】 I型訓練：プレーヤー等所感（令和3年度シナリオ）
- 資料1-1-4：【川内、伊方、美浜】 I型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和3年度シナリオ）
- 資料1-1-5：PWR I型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】
- 資料1-1-6：PWR I型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシート取りまとめ表【気付き事例、改善事項】
- 資料1-1-7：【敦賀】 I型訓練：プレーヤー等所感（令和2年度シナリオ）
- 資料1-1-8：【敦賀】 I型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和2年度シナリオ）

(2)BWR 取りまとめ

- 資料1-2-1：BWR I型訓練観察チェックシート取りまとめ表【良好事例】（令和3年度シナリオ）
- 資料1-2-2：BWR I型訓練観察チェックシート取りまとめ表【気付き事例、改善事項】（令和3年度シナリオ）
- 資料1-2-3：【柏崎刈羽、東海第二、島根、女川、東通】 I型訓練：プレーヤー等所感（令和3年度シナリオ）
- 資料1-2-4：【柏崎刈羽、東海第二、島根、女川、東通】 I型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和3年度シナリオ）
- 資料1-2-5：BWR I型訓練観察チェックシート取りまとめ表【良好事例】（令和2年度シナリオ）
- 資料1-2-6：BWR I型訓練観察チェックシート取りまとめ表【気付き事例、改善事項】（令和2年度シナリオ）
- 資料1-2-7：【浜岡、東海第二】 I型訓練：プレーヤー等所感（令和2年度シナリオ）
- 資料1-2-8：【浜岡、東海第二】 I型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和2年度シナリオ）

(3)PWR シナリオ

- 資料1-3-1：PWR I型訓練 令和4年度訓練シナリオ（案）
- 資料1-3-2：令和4年度I型訓練 基本シナリオ（案）
- 資料1-3-3：令和4年度I型訓練シナリオ（概略系統図）

資料1-3-4：PWR I型訓練（令和4年シナリオ）スケジュール（案）

(4)BWR シナリオ

資料1-4-1：BWR 令和4年度 I型訓練シナリオ（案）

資料1-4-2：令和4年度 BWR I型訓練 基本シナリオ

資料1-4-3：令和4年度 BWR I型訓練概略系統図

資料1-4-4：BWR I型訓練（令和4年シナリオ）スケジュール（案）

議題2 令和4年度Ⅱ型訓練実施要領について

資料2-1-1：2021年度Ⅱ型訓練評価チェックシートを活用した各社訓練結果（2023年2月末時点）

資料2-1-2：2021年度Ⅱ型訓練良好事例等の各社反映状況（2023年2月末時点）

資料2-2：令和4年度Ⅱ型訓練実施要領，評価項目および評価方法

議題3 令和4年度のⅠ型・Ⅱ型訓練実施実績（予定）

資料3：令和4年度のⅠ型・Ⅱ型訓練実施実績・予定

議題4 その他

資料4：令和5年度訓練シナリオ開発WGの進め方 について

以 上

I型訓練（令和3年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	川内原子力発電所、伊方発電所、美浜発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R3年度シナリオ：2022年8月5日(川内)、2022年9月14日(伊方)、2022年12月27日(美浜)		

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	良好事例（整理後）
1	発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有				
2	事象収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示				
3	事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測 （本部より評価、予測される場合は、本部側で評価）				
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請				

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	良好事例（整理後）
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作				

I 型訓練（令和 3 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	川内原子力発電所、伊方発電所、美浜発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R3 年度シナリオ：2022 年 8 月 5 日（川内）、2022 年 9 月 14 日（伊方）、2022 年 12 月 27 日（美浜）		

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	良好事例（整理後）
1	発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのプラント状況とパラメータ推移をタイムリーで正確に把握 ・本部内でのプラント状況とパラメータ推移の共有				
2	事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査				
3	事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測 （当直により評価、予測される場合は、当直側で評価）				

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	良好事例（整理後）
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）				
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用				

I 型訓練（令和 3 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表（気付き事項、改善事項）

発電所	川内原子力発電所、伊方発電所、美浜発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R3 年度シナリオ：2022 年 8 月 5 日（川内）、2022 年 9 月 14 日（伊方）、2022 年 12 月 27 日（美浜）		

○：気付き事項、●：改善事項

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	備考
1	発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有				
2	事象収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示				
3	事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は、本部側で評価）				シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	備考
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告				
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作				

I 型訓練（令和3年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表（気づき事項、改善事項）

発電所	川内原子力発電所、伊方発電所、美浜発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R3年度シナリオ：2022年8月5日(川内)、2022年9月14日(伊方)、2022年12月27日(美浜)		

○：気づき事項、●：改善事項

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	備考
1	発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内でのプラント状況とパラメータ推移の共有				
2	事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査				シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開
3	事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測 （当直により評価、予測される場合は、当直側で評価）				

	評価項目	川内原子力発電所	伊方発電所	美浜発電所	備考
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）				
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用				

【2022年度】【川内発電所】I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【伊方】I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【美浜発電所】I型訓練(R03シナリオ)：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【川内原子力発電所】I型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和3年度シナリオ：2022年8月5日実施）

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

【伊方発電所】I型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和3年度シナリオ：2022年9月14日実施）

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

【美浜発電所】I型訓練（R03 シナリオ）：主要事象に対する判断と対応

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

PWR I 型訓練（令和 2 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	敦賀発電所、大飯発電所、高浜発電所、泊発電所、川内原子力発電所					評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	2022 年 9 月 9 日 (敦賀)、2023 年 2 月 10 日 (大飯)、3 月 2 日 (泊)、3 月 10 日 (高浜)、3 月 30 日 予定 (川内)						
評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所		良好事例（整理後）
1	発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有						
2	事象収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示 シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開						
3	事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は、本部側で評価）						

	評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所	良好事例（整理後）
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開					
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告						
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作						

PWR I型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	敦賀発電所、大飯発電所、高浜発電所、泊発電所、川内原子力発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	2022年9月9日(敦賀)、2023年2月10日(大飯)、3月2日(泊)、3月10日(高浜)、3月30日予定(川内)		

評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内でのプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開					
2 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位(止める・冷やす・閉じ込める)と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査						
3 事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測（当直により評価、予測される場合は、当直側で評価）						

	評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所		良好事例（整理後）
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開						
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）							
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用							

PWR I型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表（気付き事項、改善事項）

発電所	敦賀発電所、大飯発電所、高浜発電所、泊発電所、川内原子力発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	2022年9月9日(敦賀)、2023年2月10日(大飯)、3月2日(泊)、3月10日(高浜)、3月30日予定(川内)		

評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所	備考
1 発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開					
2 事象収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示						
3 事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は、本部側で評価）						

	評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所	備考
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開					
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告						
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作						

PWR I型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表（気付き事項、改善事項）

発電所	敦賀発電所、大飯発電所、高浜発電所、泊発電所、川内原子力発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	2022年9月9日(敦賀)、2023年2月10日(大飯)、3月2日(泊)、3月10日(高浜)、3月30日予定(川内)		

評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所	備考
1 発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内でのプラント状況とパラメータ推移の共有						
2 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位(止める・冷やす・閉じ込める)と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査						
3 事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測(当直により評価、予測される場合は、当直側で評価)						

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

	評価項目	敦賀発電所	大飯発電所	泊発電所	高浜発電所	川内原子力発電所		備考
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開						
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）							
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用							

【敦賀発電所】I型訓練：プレーヤー等所感（令和2年度シナリオ）

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【敦賀発電所】I 型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和 2 年度シナリオ）

主要事象	判 断	対 応	備 考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

BWR I 型訓練（令和 3 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R3 年度シナリオ：2022年6月29日(東通)、2022年5月25日(女川)、2022年6月17日(柏崎刈羽)、2023年3月15日予定(浜岡)、2023年3月30日予定(志賀)、2022年6月22日(島根)、2022年4月20日(東海第二)		

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
2 事故収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示								

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
3	事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は、本部側で評価） ・本部への必要な対応操作・作業の要請	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請								
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告								

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							

BWR I 型訓練（令和 3 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R3 年度シナリオ：2022年6月29日(東通)、2022年5月25(女川)、2022年6月17日(柏崎刈羽)、2023年3月15日予定(浜岡)、2023年3月30日予定(志賀)、2022年6月22日(島根)、2022年4月20日(東海第二)		

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内のプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
2 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査								
3 事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測								

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
	(当直により評価、予測される場合は、当直側で評価)	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示								
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）								
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用								

BWR I 型訓練（令和 3 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【気づき事項，改善事項】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R 3 年度シナリオ：2022年6月29日(東通)、2022年5月25(女川)、2022年6月17日(柏崎刈羽)、2023年3月15日予定(浜岡)、2023年3月30日予定(志賀)、2022年6月22日(島根)、2022年4月20日(東海第二)		

○：気づき事項，●：改善事項

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
1 発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の共有								
2 事故収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示								シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開
3 事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を評価し、事象進展を予測（本部より評価、予測さ								

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
	れる場合は本部側で評価) ・本部への必要な対応操作・作業の要請	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請								
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席へのタイムリーで正確な状況を報告								
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作								

BWR I 型訓練（令和 3 年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【気づき事項，改善事項】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R3 年度シナリオ：2022年6月29日(東通)、2022年5月25日(女川)、2022年6月17日(柏崎刈羽)、2023年3月15日予定(浜岡)、2023年3月30日予定(志賀)、2022年6月22日(島根)、2022年4月20日(東海第二)		

○：気づき事項，●：改善事項

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
1 発生事象の状況把握 ・クリティカルパラメータを決定し、中央制御室運転員に対し監視を指示 ・中央制御室，現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の把握								
2 事象進展の予測 ・パラメータの推移，必要な対応操作等から影響を評価し，事象進展を予測（対策本部から共有される場合はその情報を把握）								
3 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作								

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
業・操作の指示 ・その他事故収束への対応 支援 ・優先順位と対応方針の決 定、伝達	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4 要員管理 ・現場要員の稼働状況、 作業終了見通しを把握 し、適切な配置、作業 の優先順位を指示								
5 コミュニケーション ・本部へのタイムリーで正 確なコミュニケーションの 実施								
6 知識の活用 ・手順書の使用								

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【東海第二発電所】I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【島根原子力発電所】I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【女川原子力発電所】BWR I型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【2022年度】【東通原子力発電所】BWR I 型訓練（R3年シナリオ）：プレーヤー等の所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【東京電力】I型訓練(令和3年度開発シナリオ) 主要事象における判断と対応

年月日	R3年度シナリオ：2022年6月17日	評価対象	【緊急時対策所】 【中央制御室】
-----	---------------------	------	---------------------

○：実施事項，◎：良好事例，△：気づき事項，改善事項

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

※改善が必要な項目については、改善策を検討し次回以降の訓練でその有効性を検証する。

【東海第二発電所】I型訓練(令和3年度開発シナリオ) 主要事象における判断と対応

年月日	R3年度シナリオ：2022年4月20日	評価対象	【緊急時対策所】 【中央制御室】
-----	---------------------	------	---------------------

○：実施事項，◎：良好事例，△：気づき事項，改善事項

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

※改善が必要な項目については、改善策を検討し次回以降の訓練でその有効性を検証する。

【中国電力】I型訓練(令和3年度開発シナリオ) 主要事象における判断と対応

年月日	R3年度シナリオ：2022年6月22日	評価対象	【緊急時対策所】 【中央制御室】
-----	---------------------	------	---------------------

○：実施事項，◎：良好事例，△：気づき事項，改善事項

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

※改善が必要な項目については、改善策を検討し次回以降の訓練でその有効性を検証する。

【女川原子力発電所】BWR I 型訓練(令和 3 年度開発シナリオ) : 主要事象に対する判断と対応

年月日	R3年度シナリオ : 2022年5月25日 (女川)	評価対象	【緊急時対策所】 【中央制御室】
-----	----------------------------	------	---------------------

○ : 実施事項, ● : 良好事例, △ : 気づき事項, 改善事項

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型 (ブラインド訓練) のため非公開			

【東通原子力発電所】I型訓練(令和3年度開発シナリオ) 主要事象における判断と対応

年月日	R3年度シナリオ：2022年6月29日（東通）	評価対象	【緊急時対策所】 【中央制御室】
-----	-------------------------	------	---------------------

○：実施事項，◎：良好事例，△：気づき事項，改善事項

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

※改善が必要な項目については，改善策を検討し次回以降の訓練でその有効性を検証する。

BWR I 型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R2年度シナリオ：2022年3月31日（東通）、2022年3月24日（女川）、2021年6月18日（柏崎刈羽）、2022年6月3日（浜岡）、2022年3月10日（志賀）、2022年3月28日（島根）、2022年5月18日（東海第二）		

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・中央制御室内でのプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
2 事故収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示								
3 事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移、必要な対応操作等から影響を推定し、事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は、本部側で評								

黄色ハッチング：過去に各電力に展開した共通展開良好事例

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
価) ・本部への必要な対応操作・作業の要請	<p>シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開</p>							
要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請								
コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席にタイムリーで正確な状況を報告								
知識の活用 ・手順書に従った対応操作								

BWR I 型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【良好事例】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二原子力発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R2年度シナリオ：2022年3月31日（東通）、2022年3月24日（女川）、2021年6月18日（柏崎刈羽）、2022年6月3日（浜岡）、2022年3月10日（志賀）、2022年3月28日（島根）、2022年5月18日（東海第二）		

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
1 発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内のプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
2 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応方針の決定、伝達 ・設備の故障原因調査								

黄色ハッチング：過去に各電力に展開した共通展開良好事例

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
3 事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移，必要な対応操作等から影響を評価し，事象進展を予測（当直により評価、予測される場合は、当直側で評価）	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4 要員管理 ・現場要員の稼働状況，作業終了見通しを把握し，適切な配置，作業の優先順位を指示								
5 コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）								

黄色ハッチング：過去に各電力に展開した共通展開良好事例

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	良好事例（整理後）
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							

BWR I 型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【気づき事項，改善事項】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二発電所	評価対象	【中央制御室】当直課長
年月日	R2年度シナリオ：2022年3月31日(東通)、2022年3月24日(女川)、2021年6月18日(柏崎刈羽)、2022年6月3日(浜岡)、2022年3月10日(志賀)、2022年3月28日(島根)、2022年5月18日(東海第二)		

○：気づき事項，●：改善事項

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
1 発生事象の状況把握 ・プラント状況把握に必要なパラメータを選定し、中央制御室操作員、現場操作員に対して監視・報告を指示 ・中央制御室操作員、現場操作員からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・中央制御室，現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移の共有	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
2 事故収束に向けた対応操作決定 ・対応操作の検討 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応操作の指示								
3 事象進展の監視・予測 ・オーバーサイトによる全体監視（当直課長） ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移，必要な対応操作等から影響を評価し，事象進展を予測（本部より評価、予測される場合は本部側で評価）								

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
	・本部への必要な対応操作・作業の要請	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4	要員管理 ・現場要員の作業状況、作業終了見通しを把握し、適切な配置、作業の優先順位を指示。必要に応じ、本部席に応援要員を要請								
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席へのタイムリーで正確な状況を報告								
6	知識の活用 ・手順書に従った対応操作								

BWR I 型訓練（令和2年度シナリオ）観察チェックシートとりまとめ表【気づき事項，改善事項】

発電所	東通原子力発電所、女川原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所、浜岡原子力発電所、志賀原子力発電所、島根原子力発電所、東海第二発電所	評価対象	【緊急時対策所】指揮者、本部席各機能
年月日	R2年度シナリオ：2022年3月31日(東通)、2022年3月24日(女川)、2021年6月18日(柏崎刈羽)、2022年6月3日(浜岡)、2022年3月10日(志賀)、2022年3月28日(島根)、2022年5月18日(東海第二)		

○：気づき事項，●：改善事項

評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
1 発生事象の状況把握 ・中央制御室、現場からのタイムリーで正確なプラント状況とパラメータ推移把握 ・本部内のプラント状況とパラメータ推移の共有								
2 事故収束に向けた活動と情報連携 ・事故収束に向けた対応作業・操作の検討および指示 ・その他事故収束への対応支援 ・優先順位（止める・冷やす・閉じ込める）と対応方針の決定，伝達 ・設備の故障原因調査								
3 事象進展の監視・予測 ・プラント状況や対応操作の進捗状況の確認 ・パラメータの推移，必要な対応操作等から影響を評価し，事象進展を予測（当直により評価、予測される場合は、当直側で評								

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

	評価項目	東通原子力発電所	女川原子力発電所	柏崎刈羽原子力発電所	浜岡原子力発電所	志賀原子力発電所	島根原子力発電所	東海第二原子力発電所	備考
	備)	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開							
4	要員管理 ・現場要員の稼働状況，作業終了見通しを把握し，適切な配置，作業の優先順位を指示								
5	コミュニケーション ・情報共有のためのブリーフィングの実施 ・本部席は中央制御室での対応操作を妨げない ・即応センター等、所外への的確な情報連携（訓練対象である場合）								
6	知識の活用 ・手順書の使用 ・知識データベースの活用								

【浜岡原子力発電所】BWR I 型訓練：プレーヤー等所感（令和2年度シナリオ）

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			
改善点			

【2022年度】【東海第二発電所】I型訓練（R2年シナリオ）：プレーヤー等所感

項目	中央制御室（運転員）	緊急時対策所（指揮者等）	WGメンバー
全般	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
実施方法			
シナリオ			
評価方法			

【浜岡原子力発電所】BWR I 型訓練：主要事象に対する判断と対応（令和 2 年度シナリオ）

主要事象	判 断	対 応	備 考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

【東海第二原子力発電所】BWR I 型訓練：主要事象に対する判断と対応

主要事象	判断	対応	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

PWR I型訓練 令和4年度訓練シナリオ骨子（案）

PWR 令和4年度I型訓練シナリオについて作成し、各社共に成立性が確認できたシナリオ案は以下の通り。

その中から、

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

シナリオ案1

のシナリオを令和4年度シナリオとしたい。

案	シナリオ	概要	備考
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開			

PWR I 型訓練 令和4年度訓練基本シナリオ（案1）

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

取扱注意

PWR I 型訓練 令和4年度訓練基本シナリオ（案2）

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

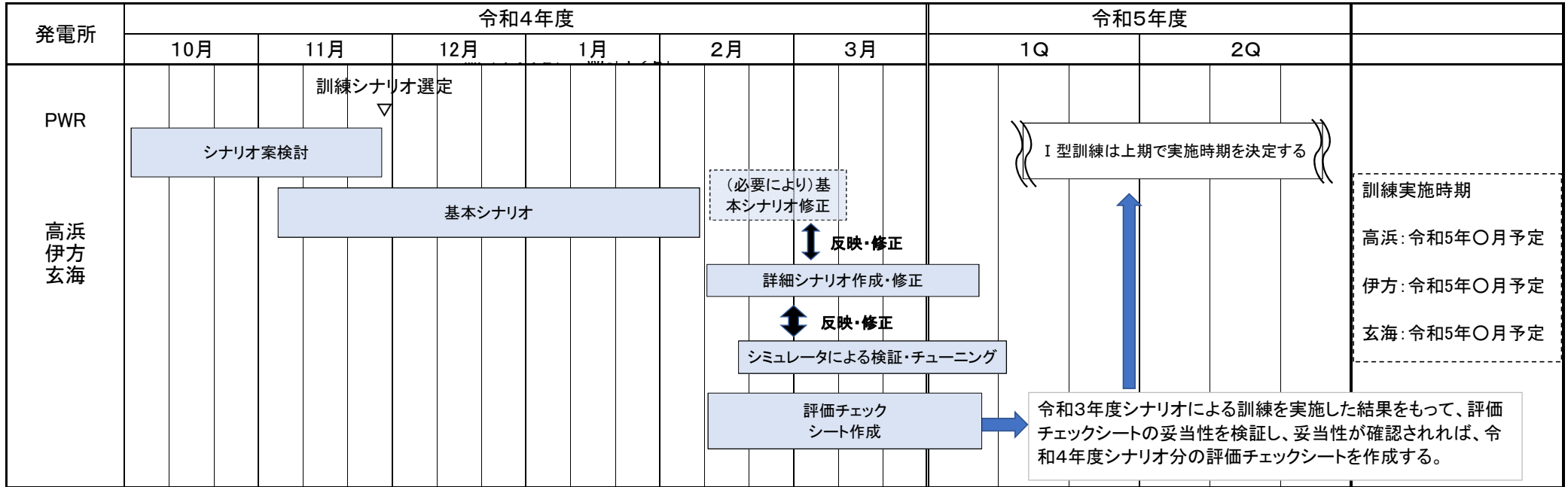
PWR I 型訓練 令和4年度訓練シナリオ概略系統図（案1）

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

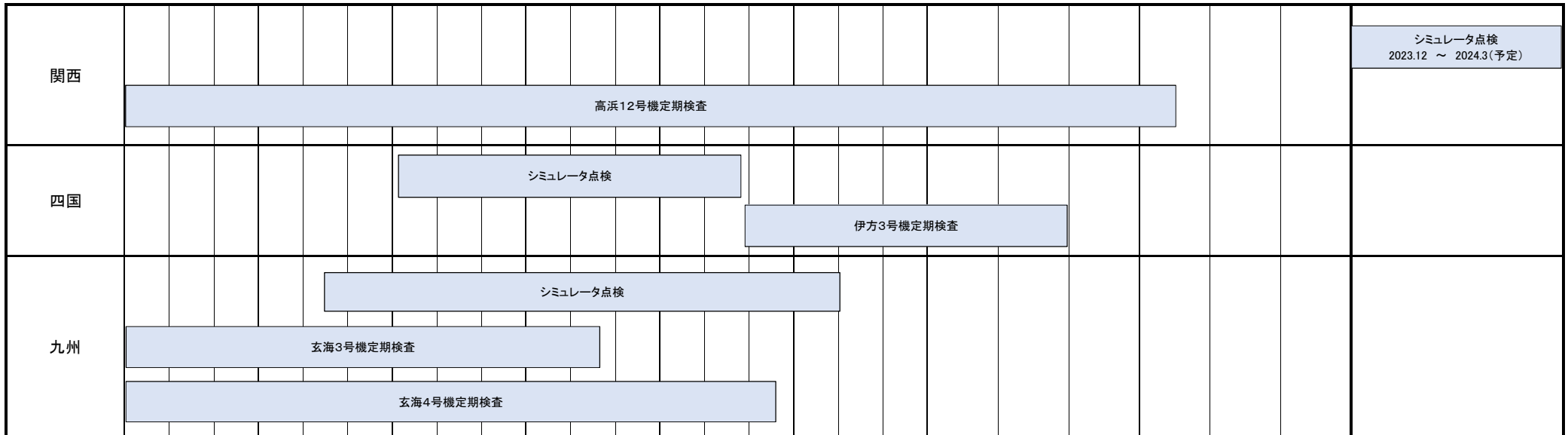
PWR I 型訓練 令和4年度訓練シナリオ概略系統図（案2）

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

PWR I型訓練（令和4年シナリオ）スケジュール（案）



(参考)各社シミュレータ・定期検査予定



BWR 令和4年度 I 型訓練シナリオ (案)

BWR 令和4年度 I 型訓練シナリオについて、東電 HD・中国・原電・東北にて作成したシナリオ案は以下の通り。

その中から、シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開 東北電力のシナリオを令和4年度シナリオとしたい。

事業者	シナリオ	概要	備考
東電 HD	シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開		
原電			
中国			

東北

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

取扱注意

資料1-4-2

令和4年度 BWR I型訓練 基本シナリオ
東京電力HD 柏崎刈羽7号機

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

取扱注意

令和4年度 BWR I型訓練 基本シナリオ
日本原電 東海第二発電所

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

取扱注意

令和4年度 BWRI型訓練 基本シナリオ
中国電力 島根2号機

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

取扱注意

令和4年度 BWR I型訓練 基本シナリオ
東北電力 女川2号機

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

取扱注意

令和4年度 BWR I型訓練 基本シナリオ
東京電力 柏崎刈羽7号機

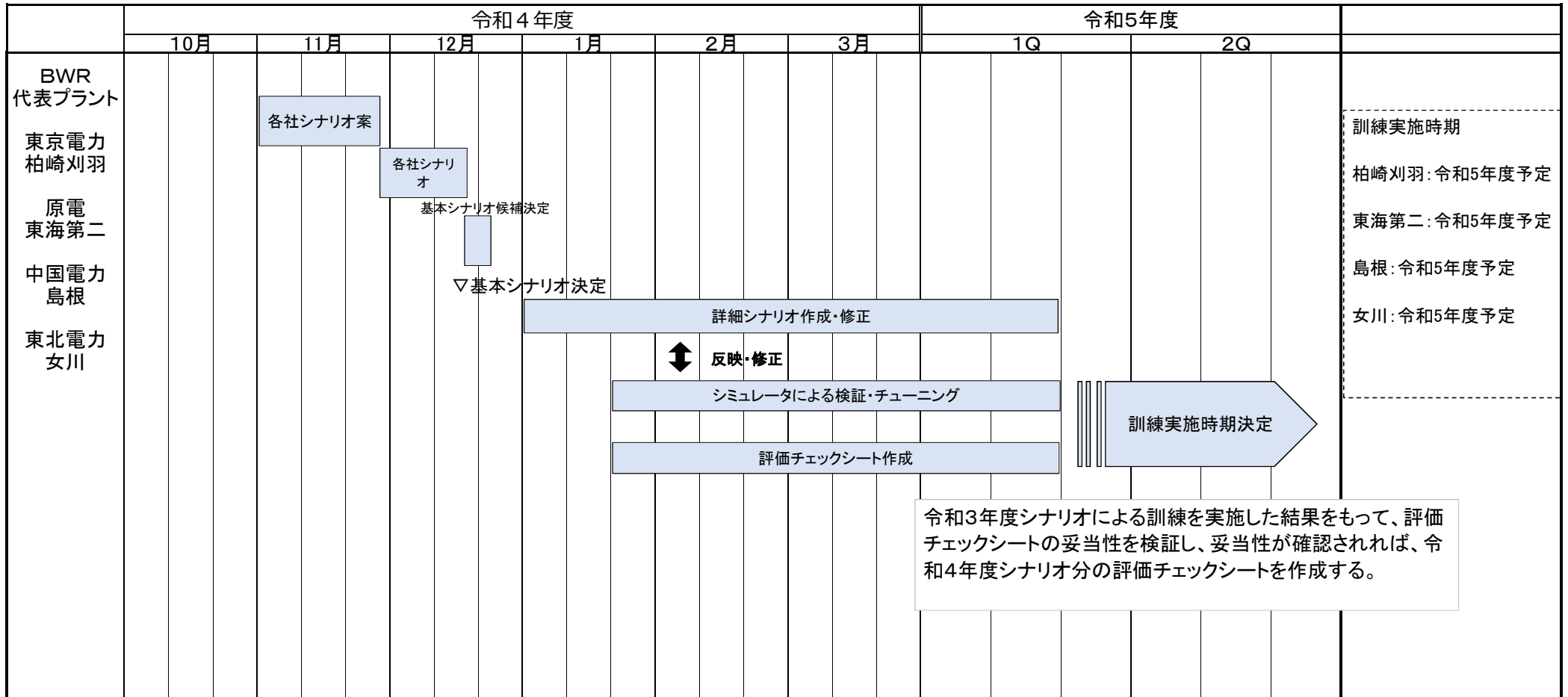
シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

シナリオ非提示型（ブラインド訓練）のため非公開

BWR I 型訓練令和4年度シナリオ実施計画（案）

資料1-4-4



令和 3 年度シナリオⅡ型訓練評価チェックシートを活用した各社訓練結果

事業者	反映状況
北海道	<p>【泊】</p> <p>■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型設備による電源供給訓練：2022年4月21日 <p>■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (2022年2月)</p> <p>－ 気づき・改善事項 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TBMにおいて、体調確認時の顔色確認の際、一時的にマスク（不織布／布等）を外して実施するのが望ましい。 ・ケーブル敷設時、若干のねじれが生じ、地面より浮いていたことから、躓きによる転倒の危険に繋がるため注意すべきであった。 ・どの通信手段を使用するのか、TBMで確認しておくべきであった。 <p>－ 改善活動 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TBMの体調確認時は、一時的にマスク（不織布／布等）を外して実施するよう、確認事項のチェックシートに追記した。 ・ケーブル敷設時は、ケーブルのねじれを修正することを手順書に追記した。 ・TBMで、通信手段を確認するよう、確認事項のチェックシートに追記した。
東北	<p>【東通】</p> <p>■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源車の接続および電源供給訓練：2022年11月25日 <p>■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (2022年11月)</p> <p>－ 気づき・改善事項 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源車側ケーブル接続部に掲示している「危険 高電圧」の表示が訓練中何度も落ちていた。 <p>－ 改善活動 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「危険 高電圧」の表示について、吸盤クリップから磁石テープに変更するなど、改善することとした。 <p>【女川】</p> <p>■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替交流電源による給電：2022年4月27日 <p>■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (2022年4月)</p> <p>－ 気づき・改善事項 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブル敷設中にリーダーから集合がかかった際に、ケーブルの末端キャップを外したままであった。 <p>－ 改善活動 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業途中にリーダーから集合がかかった際には、異物混入防止を行ってから集合するよう周知を行った。

事業者	反映状況
東京	<p>【福島第一】 ■ 4月実施予定</p> <p>【福島第二】 ■ 4月実施予定</p> <p>【柏崎刈羽】 ■ 4月実施予定</p>
中部	<p>【浜岡】 ■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。 ・交流電源車による給電訓練：2022年11月22日</p> <p>■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (実施年月)</p> <p>－ 気づき・改善事項 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボルトにサイズ表記がなく工具の選定に時間を要した。 ・タイベック着用の場合、耳栓を装着できないためイヤーマフ等が必要であった。 <p>－ 改善活動 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボルトナットサイズ表記をすることで見える化を図った。 ・イヤーマフ等の購入検討を行う。
北陸	<p>【志賀】 ■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。 ・高圧電源車による給電操作訓練：2022年9月27日</p> <p>■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (実施年月)</p> <p>－ 気づき・改善事項 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線防護装備（タイベック）は分厚いビニール素材で通気性がないため、夏場等では熱中症等の暑さ対策が気になった。 <p>－ 改善活動 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練実績(気温、熱中症指数、従事した人の情報(年齢、装備))を参考基準としてまとめ、本部はこの基準を基にして交代人員を管理することについて、ガイドラインに反映することを検討する。
関西	<p>【大飯】 結果整理中（2023年3月10日実施）</p> <p>【高浜】 未実施（2023年3月30日予定）</p> <p>【美浜】 結果整理中（2023年3月3日実施）</p>

事業者	反映状況
中国	<p>【島根】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型設備による電源供給：2023年1月31日 ■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (実施年月) <ul style="list-style-type: none"> － 気づき・改善事項 － ・社内評価において、気づき・改善事項は抽出されなかった。 なお、現在、他社評価を受けているため、別途結果を整理する。 － 改善活動 － ・他社評価を受領後、結果を整理する。
四国	<p>【伊方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■評価チェックシートを活用した電源確保訓練について、以下のとおり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・300kVA電源車による特重施設への給電訓練：2023年2月2日 ■気づき・改善事項に対する周知および資機材・訓練資料の改善を以下のとおり実施した。 (実施年月) <ul style="list-style-type: none"> － 気づき・改善事項 － ・車両設置後の車止めの設置方向が同一方向となっていた。車止めは車輪に対して前後方向に設置する必要があるため、基本事項として注意する必要がある。 ・作業エリア内に使用後の工具箱が置かれたままになっていることがあった。使用後は活動の支障にならないよう、適宜、整理整頓しておく必要がある。 － 改善活動 － ・車輪止めの設置方向や工具の整理整頓等、基本事項の徹底について今後の訓練において繰り返し指導していく。
九州	<p>【玄海】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■3月29日実施予定 <p>【川内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■3月28日実施予定
原電	<p>【東海第二】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■3月23日実施予定 <p>【敦賀】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■3月9日実施予定

令和 3 年度シナリオ II 型訓練良好事例等の各社反映状況

事業者	反映状況
北海道	<p>【泊】</p> <p>■昨年度実施した II 型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。(2023 年 2 月済)</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TBM において、体調確認時の顔色確認の際、一時的にマスク（不織布／布等）を外して実施するよう、確認事項のチェックシートに追記した。 ・ケーブル敷設時、躓きによる転倒の危険に繋がるため、ケーブルのねじれを修正することを手順書に追記した。 ・どの通信手段を使用するのか、TBM で確認するよう、確認事項のチェックシートに追記した。
東北	<p>【東通】</p> <p>■昨年度実施した II 型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ブリーフィングチェックシートへ、荒天時はこまめに扉を閉めるよう注意喚起の項目を追加した。(2022 年 11 月済) □接地線の取り付け方法について、訓練事前打ち合わせ用テキストに反映し、継続的に周知することとした。(2022 年 11 月済) <p>【女川】</p> <p>■昨年度実施した II 型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> □拡声器付き全面マスクを着用し、放射線防護装備着用時に正確に情報共有が行えることを確認した。(2022 年 4 月済) □車両誘導時に電子ホイッスルを使用し、周囲への注意喚起、車両運転者への誘導しやすさを確認した。(2022 年 4 月済)
東京	<p>【福島第一】</p> <p>■ 4 月実施予定</p> <p>【福島第二】</p> <p>■ 4 月実施予定</p> <p>【柏崎刈羽】</p> <p>■ 4 月実施予定</p>

事業者	反映状況
中部	<p>【浜岡】</p> <p>■昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の運転音が大きい場合は、小型拡声器を活用する（2022年11月済） ・TBMチェックシートに体調確認のためマスク（不織布／布）を外して顔色を確認することを追記した。（2022年11月済）
北陸	<p>【志賀】</p> <p>■昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行った。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両移動（後進）を行う際の電子ホイッスルの使用方法、誘導方法を手順書に反映し、訓練で効果的に実践されていることを確認した。（2022年9月済） ・体調確認時には「マスクを外して顔色も確認すること」をTBMチェックシートに追記し、訓練で実施されていることを確認した。（2022年9月済）
関西	<p>【大飯】</p> <p>■昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備運転音（騒音）対策として、咽喉マイクを活用。 <p>【高浜】</p> <p>検討中（2023年3月30日予定）</p> <p>【美浜】</p> <p>■昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラックアウト時に緊急時対策所の電源をDG（安全系母線）と緊急時対策所の電源車のどちらからの供給を優先するのかが不明確であったため、本部要員のチェックシートおよび緊急時対策所の電源盤に掲示しているパウチに優先順位を追記し手順の明確化を図った。
中国	<p>【島根】</p> <p>■昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項については、当社の運用として取り込まれていることを確認した。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を用いた手順書を作成し、作業内容を理解・伝達の向上を図る。 →電源車の使用前点検箇所等について、手順書に写真を掲載している。 ・電源車の移動の際に誘導者は電子ホイッスルを使用し、手を挙げて確実に誘導する。 →ブリーフィング時に電源車の電子ホイッスルによる誘導（声掛け方法、ホイッスルの使用）について、チェックシートを使用して確認している。 ・どの通信手段を使用するのか、TBMで確認する。 →ブリーフィング時に現場活動で使用する通信機器について、チェックシートを使用して確認している。

事業者	反映状況
四国	<p>【伊方】</p> <p>■ 昨年度実施したⅡ型訓練の良好事例、改善事項の反映について、当社への反映が必要な事項の抽出、対応を行っている。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班長は状況に応じて適宜ブリーフィングを行い、班員へ作業手順の説明を実施していた。また、班員は積極的に質問するだけでなく、説明された作業内容を安全かつ確実に実施するために様々な提案を行っていた。(2023年2月済) ・ ケーブル敷設時、躓きによる転倒災害防止のため、ねじれがないことを確認していた。(2023年2月済)
九州	<p>【玄海】</p> <p>■ 3月29日実施予定</p> <p>【川内】</p> <p>■ 3月28日実施予定</p>
原電	<p>【東海第二】</p> <p>■ 3月23日実施予定</p> <p>【敦賀】</p> <p>■ 3月9日実施予定</p>

令和4年度Ⅱ型訓練 実施要領, 評価項目および評価方法 (BWR代表プラント)

The logo for TEPCO (Tokyo Electric Power Company) is displayed in a bold, red, sans-serif font.

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所
安全総括部 防災安全グループ

1. II型訓練実施要領

(1)訓練シナリオ開発WGにおけるII型訓練の目的

- 現場対応能力の向上を目的とした訓練評価手法および訓練改善の仕組みを検討する。
- 良好事例をNRAおよび電力各社で共有し、現場対応能力の向上を図る。

(2)II型訓練のテーマ

- a. テーマ : 可搬型設備による送水
- b. 操作手順 : 可搬型設備の設置及び注水操作
- c. 対応手段 : 消防車による淡水でのSFP注水

(3)実施日, 場所

2023年 月 日()

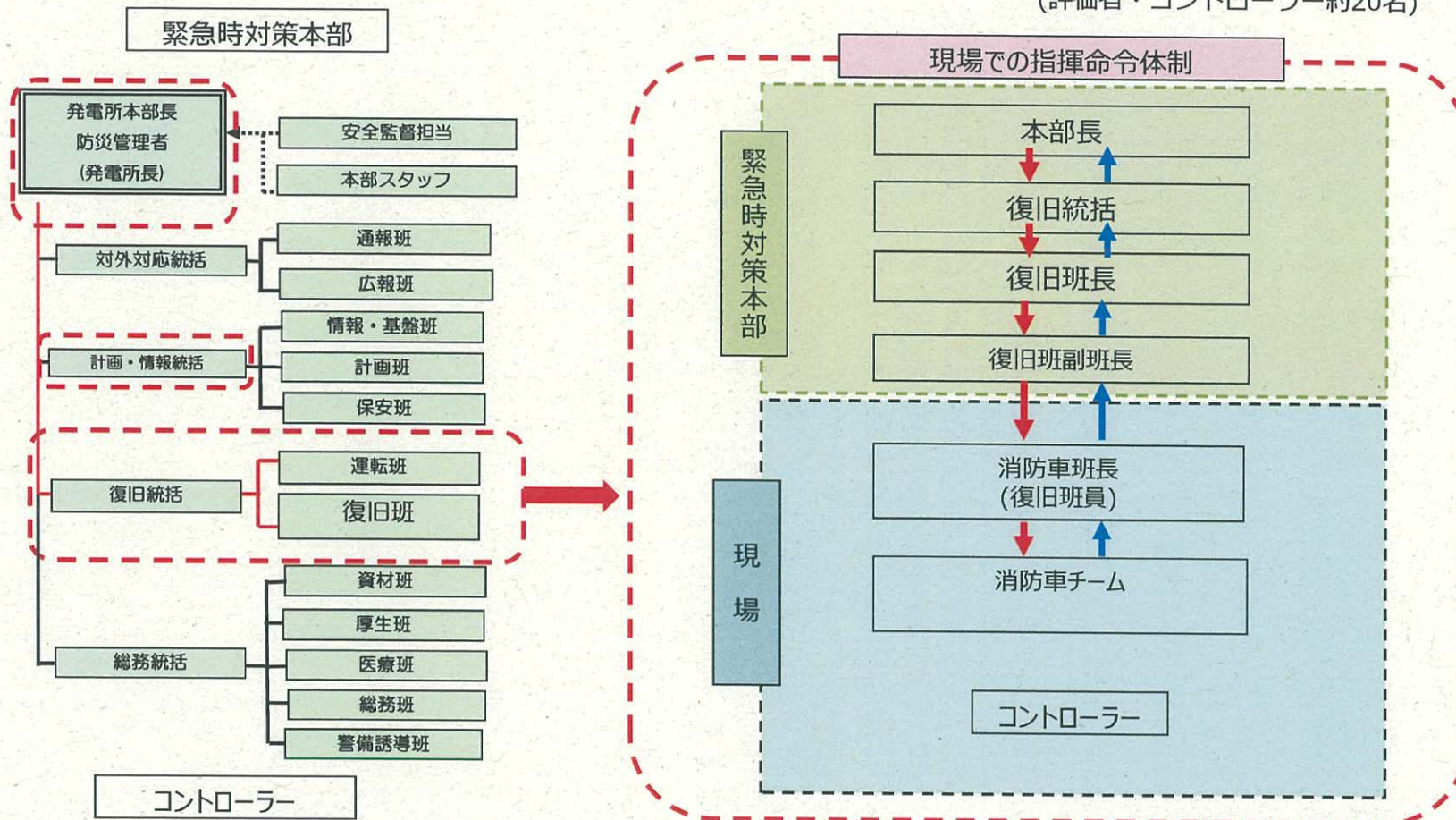
(4)訓練実施体制(訓練シナリオ開発WGによる訓練観察体制は後記)

役割	福島第二原子力発電所
訓練者	現場実動 : 5名(指揮者1名, 班員4名) 対策本部 : 50名程度
コントローラ	現場 : 2名 緊急時対策本部 : 10名

2. II型訓練実施要領 <福島第二発電所>

4. 訓練実施体制

本訓練には福島第二原子力発電所原子力防災組織全機能班が参加する。 訓練参加人数 約 50名
(評価者・コントローラー約20名)



実動訓練に関係する主要な情報連携箇所。

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

指揮・命令
報告・連絡

TEPCO

2. II型訓練実施要領〈福島第二発電所〉

(1) II型訓練の手順(福島第二発電所)

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

2. II型訓練実施要領<福島第二発電所>

(2)現場状況(福島第二発電所)

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

2. II型訓練実施要領<福島第二発電所>

(3)訓練設定上の模擬範囲およびスキップ範囲

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション<福島第二発電所>

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション<福島第二発電所>

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション<福島第二発電所>

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈福島第二発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈福島第二発電所〉

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

**令和4年度Ⅱ型訓練
実施要領，評価項目および評価方法
(PWR代表プラント)**

**2023年 月
日本原子力発電株式会社**

1. II型訓練実施要領

(1) 訓練シナリオ開発WGにおけるII型訓練の目的

- 現場対応能力の向上を目的とした訓練評価手法および訓練改善の仕組みを検討する。
- 良好事例をNRAおよび電力各社で共有し、現場対応能力の向上を図る。

(2) II型訓練のテーマ

- a. テーマ : 可搬型設備による送水
- b. 操作手順 : 可搬型設備の設置及び注水操作
- c. 対応手段 : <敦賀発電所> 海水からSFPへの送水
<発電所>

(3) 実施日, 場所

<敦賀発電所> 2023年5月19日(金) 予定(仮)
<発電所> 年 月 日 ()

(4) 訓練実施体制 (訓練シナリオ開発WGによる訓練観察体制は後記)

役割	敦賀発電所	発電所
訓練者	現場実働 : 6名 (班長1名, 班員5名) 対策本部 : 40名程度	現場実働 : 名 (現場指揮者 名, 作業者 名, 追加作業者 名) 対策本部 (復旧班長) : 名 (コントローラ模擬)
コントローラ	現場 : 5名 対策本部 : 5名	現場 : 名 緊急時対策本部 : 名

2. II型訓練実施要領〈敦賀発電所〉

13

(1) II型訓練の手順（敦賀発電所）

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

2. II型訓練実施要領〈敦賀発電所〉

14

(2) 現場状況（敦賀発電所）

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

2. II型訓練実施要領<敦賀発電所>

15

(3) 訓練設定上の模擬範囲およびスキップ範囲

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈敦賀発電所〉

16

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈敦賀発電所〉

17

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション<敦賀発電所>

18

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈敦賀発電所〉

19

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

3. マルファンクション〈敦賀発電所〉

20

シナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）のため非公開

令和4年度(2022年度) I型、II型訓練実績

資料3

No.	I型、II型	シナリオ年度	炉型	実施日	事業者	発電所
1	I型	令和3年度	BWR	2022年4月20日	日本原電	東海第二発電所
2	II型	令和3年度	PWR	2022年4月21日	北海道電力	泊発電所
3	II型	令和3年度	BWR	2022年4月27日	東北電力	女川原子力発電所
4	I型	令和2年度	PWR	2022年4月28日	九州電力	玄海原子力発電所
5	I型	令和2年度	BWR	2022年5月18日	日本原電	東海第二発電所
6	I型	令和3年度	BWR	2022年5月25日	東北電力	女川原子力発電所
7	I型	令和2年度	BWR	2022年6月3日	中部電力	浜岡原子力発電所
8	I型	令和3年度	BWR	2022年6月17日	東京電力	柏崎刈羽原子力発電所
9	I型	令和3年度	BWR	2022年6月22日	中国電力	島根原子力発電所
10	I型	令和3年度	BWR	2022年6月29日	東北電力	東通原子力発電所
11	I型	令和3年度	PWR	2022年8月5日	九州電力	川内原子力発電所
12	I型	令和2年度	PWR	2022年9月9日	日本原電	敦賀発電所
13	I型	令和3年度	PWR	2022年9月14日	四国電力	伊方発電所
14	II型	令和3年度	BWR	2022年9月27日	北陸電力	志賀原子力発電所
15	II型	令和3年度	BWR	2022年11月22日	中部電力	浜岡原子力発電所
16	II型	令和3年度	BWR	2022年11月25日	東北電力	東通原子力発電所
17	I型	令和3年度	PWR	2022年12月27日	関西電力	美浜発電所
18	II型	令和3年度	BWR	2023年1月31日	中国電力	島根原子力発電所
19	II型	令和3年度	PWR	2023年2月2日	四国電力	伊方発電所
20	I型	令和2年度	PWR	2023年2月10日	関西電力	大飯発電所
21	II型	令和3年度	PWR	2023年3月9日	日本原電	敦賀発電所
22	I型	令和2年度	PWR	2023年3月10日	関西電力	高浜発電所
23	I型	令和2年度	PWR	2023年3月2日	北海道電力	泊発電所
24	II型	令和3年度	PWR	2023年3月3日	関西電力	美浜発電所
25	II型	令和3年度	PWR	2023年3月10日	関西電力	大飯発電所
26	I型	令和3年度	BWR	2023年3月15日	中部電力	浜岡原子力発電所
27	II型	令和3年度	BWR	2023年3月23日	日本原電	東海第二発電所
28	II型	令和3年度	PWR	2023年3月28日	九州電力	川内原子力発電所
29	II型	令和3年度	PWR	2023年3月29日	九州電力	玄海原子力発電所
30	I型	令和2年度	PWR	2023年3月30日	九州電力	川内原子力発電所
31	I型	令和3年度	BWR	2023年3月30日	北陸電力	志賀原子力発電所
32	II型	令和3年度	PWR	2023年3月予定	関西電力	高浜発電所
33	I型	令和4年度	BWR	2023年4月予定	東京電力	柏崎刈羽原子力発電所
34	I型	令和2年度	PWR	2023年4月14日	関西電力	美浜発電所

令和 5 年 3 月 1 3 日

令和 5 年度訓練シナリオ開発WGの進め方について

1. はじめに

- 訓練シナリオ開発WG（以下、「本WG」という。）は平成 2 9 年度から開催され、これまでの間、シナリオ開発やそのシナリオに基づいた訓練を行い、各社で評価を行うといった一連の流れが定着しており、現在に至っている。
- 令和 2 年 6 月 1 8 日に開催された本WGのなかで、原子力規制庁より、「原子力規制庁が担ってきた役割を事業者側（ATENA、JANSI など）へ移行」する提案がなされ、本WGの在り方や訓練の効率化などについて議論を進めていくこととなり、電事連の中に訓練シナリオ検討WGを設置し、対応を進めてきた。
- 令和 4 年 2 月 2 5 日に訓練および規制の在り方にかかる意見交換が実施され、その中で炉規制法、原災法にかかる訓練の在り方や規制庁の関与などを規制庁と事業者で検討していくこととなり、令和 4 年度の本WGは令和 3 年度までと同様に進めてきた。
- 上記の経緯やこれまでの本WGの実績を踏まえ、令和 5 年度における本WGの進め方や実施主体に関する検討を以下のとおり実施した。

2. 訓練シナリオ開発WGのこれまでの対応と令和 5 年度の取り組みについて

(1) 現状認識について

- a. 本WG開始以降、事業者は訓練の計画段階より規制側の関与（指導、助言）を受けながら検討を実施してきており、現在においては I 型訓練・II 型訓練それぞれにおいて、訓練のプロセスが確立されており、これを毎年度継続的に実施している状況である。
- b. 事業者は、上記 2. (1) a. において確立されたプロセスに則り、毎年度シナリオの検討、計画、実施、実績取りまとめ、次年度への展開、といったPDCAサイクルが定着している。
- c. 規制側への報告としては、次年度の計画（シナリオ含む）に関する内容及び当該年度の訓練結果等実績報告に関する内容について、それぞれ 1 回、毎年度計 2 回の本WG会合を実施している。
- d. 本WGの当該年度取りまとめ結果は、原子力事業者防災訓練報告会（以下、「訓練報告会」という。）において原子力規制庁から報告している。

(2) 今後の対応について

上記の点を踏まえ、以下の観点から今後の本WGにおける訓練の計画及び実施は、事業者自らが主体となって取り組むこととしたい。

- a. 本WG会合及び訓練報告会における報告内容のとおり、事業者は、2.(1)に記載の規制側の関与を受けながら確立したプロセスに則り、本訓練が毎年度実施できていること。
- b. 緊急対応能力の向上を図る訓練の取り組みは、事業者自らが主体的に実施すべきこと。

3. 結論

上記2. のとおり、本WG開始以降規制側の関与を受けながら確立されたプロセスに則り、現在においては事業者が自らP D C Aを回す事で各訓練を実施できていることから、今後は事業者が主体的に取り組む運用に移行する事が可能と考える。

更に、訓練報告会における報告についても、事業者からの説明が可能と考える。

従って、令和5年度においては、本WGにかかる訓練計画及び報告について、下表のとおりとしたい。

表1 シナリオ開発WGの実施主体の移行について

	現在 (令和4年度迄)	今後(案) (令和5年度)
本WG会合 (計画)	有	無
本WG会合 (実績)	有	有 (計画と合わせてご報告)
事業者防災訓練報告会 における報告	原子力規制庁	事業者

以 上

(別紙)

- ・別紙 事業者主体の訓練シナリオ開発に係るプロセスの整理

事業者主体の訓練シナリオ開発に係るプロセスの整理

<P>

- (1) 原子力事業者間で当年度の訓練取り纏め社を選定する。
I型訓練：再稼働または適合性審査合格後のプラントを保有するPWRおよびBWR電力から各1社
II型訓練：上記によらずPWR、BWR電力から各1社
- (2) 訓練シナリオについては、PWRおよびBWR電力それぞれの取り纏め社が中心となり、新規シナリオを開発するか、または開発済みシナリオから選定する。
- (3) 各社は、選定された訓練シナリオに基づいて訓練計画を策定する。なお、新規に開発したシナリオを使用する場合は代表プラントを選定することも可とする。

<D>

- (4) 訓練を実施するにあたって、事前に電力各社へ評価依頼を行う。

<C>

- (5) I型訓練の評価については、緊急時対策所等での立会い又は映像記録の確認のいずれも可とし、原則として訓練実施プラントと同形式を所有する電力間の評価とする。(PWR、BWRそれぞれ)
- (6) II型訓練の評価については、原則、発電所構内での現場作業の確認とするが感染症対策等やむを得ない場合にあっては映像記録の確認も可とする。
- (7) 訓練実施社は、各社評価結果を集約し、自社の改善活動に資する。

<A>

- (8) 取り纏め社は、年度末に以下の事項を整理する。
 - ・当該年度の各社訓練実施結果
 - ・各社へ展開する課題および良好事例の抽出
 - ・前年度課題等の各社反映状況
 - ・訓練評価シートの改善
- (9) 原子力規制庁は、防災訓練報告会までに訓練シナリオ開発ワーキンググループ(会合)を開催し、原子力事業者より(8)の事項について報告を受ける。